

令和5年度第3回鳥取市青谷町地域生活交通協議会議事概要

日 時：令和5年8月28日（月） 19：00～20：00

場 所：青谷町総合支所 第二・第三会議室

【開会：委員長あいさつ】

8月23日に開催された鳥取市生活交通会議で、日ノ丸自動車が青谷町内のバス路線を今年度末で廃止すると発表された。

廃止を決めた理由としては、利用者が少ない状況が続いていること。また運転手不足が深刻な状況になっていることとお聞きしている。

令和2年の3月に本市が策定した「鳥取市生活交通創生ビジョン」の中で、「青谷町のバス路線は、概ね5年から10年の間に縮小廃止の可能性が高い」とされていたが、予測よりも早くこの日が来てしまったということは非常に残念に思っている。

コロナの影響などを勘案し、時期が早まるかもしれないということで、この協議会で皆さんとともに縮小・廃止後の代替案を検討してきたが、いよいよ来年の3月末での廃止となった。

これを踏まえ、委員の皆様のご意見を伺いながら、運行方法等の具体的な検討を行い、バス路線廃止後の住民の皆様の生活にできる限り支障が出ないように対応していきたい。

皆様には引き続きのご協力をお願いしたい。

【議 事】

○路線バス廃止後の生活交通確保策について

（資料1～4により事務局説明）

事務局

当分の間、資料1のとおり継続して運行しながら様子を見させていただきたい。

バス路線廃止後は市有償運送で地域住民の生活交通を確保する計画。これは共助交通に移行するまでの当面の対応と考えている。来年3月までの間に試験的な運行もしてみたいと考えている。

【質疑応答】

委員

朝の小学生を対象にした便は青谷駅を通らないと聞いたが、一般の方や中学生・高校生が利用しにくくなるのではないか。

事務局

一般の方や中学生・高校生にはワゴン車を利用していただこうと考えている。このワゴン車の便は現行の日ノ丸バスの便のように青谷駅に寄るようになっている。

次第

委員

スクールバスはもう間に合わないという判断か。

事務局

スクールバスの運行については、まだ教育委員会と継続して協議している状況。

委員

「様子を見ながら共助交通へ移行する」とあったが、どのように様子を見ていくのか。

事務局

この協議会の中で、「路線バスが廃止になった場合には、当面の間市有償運送で運行し、様子を見ながら共助交通に移行していく」という方針が出ている。それに基づいて、皆さんと協議させていただきながら、共助交通に切り替えていくタイミングを図っていくことを考えている。共助交通はあくまでも、地域やNPO法人などが主体となり運行していくもの。地域のこれらの組織が運行できる体制となったら、共助交通へ移行していくということになるかと思う。

委員

市有償運送の定期券はどこで買えるのか。

事務局

支所で購入していただく方向で考えている。

委員

小学生が登校で利用するバスの運行開始時刻が早すぎないか。

事務局

限られた車両で児童の登校を確保しなくてはならないのでどうしても無理がいつてしまう場面が出てくる。小学校と協議しながら決めていきたいと思っている。

委員

以前、スクールバスだと校外学習の際など学校がある程度自由に車両を使えると聞いた。市有償運送ということだが、条例を改正して日中や土日等に使えるようにはならないか。

事務局

市有償運送の運行は、条例で基本的に土日祝日の運行はしないと決まっている。ただし、市長が認める場合には運行することもできるとなっているので、具体的なことについては今後協議していくことになる。

委員

小学生がバス通学をするのに市の方から定期代に対する補助があったと思うが、市有償運送になった場合でも補助は対象となるのか。

事務局

その方向で検討中。

委員

遠距離等通学費補助金制度において、路線バスやJRを使った際の保護者負担額の

上限が決められている。市有償バスになった際にはその 200 円／回、100 円／回という規定を基にして補助額を計算していくことになるのか。

事務局

その方向で検討したいと考えているところ。

委員

小・中学校の遠距離等通学費補助金制度、第 1 子 10 日間で小学生 810 円。第 2 子は半額、第 3 子から無料なのだが、是非ともその補助制度は残して欲しい。

事務局

情報収集して整理させていただく。

委員

中学生等の登下校については小学生基本で考えられているようだが、中学生・高校生も冬場などは通学のためにバスに乗ることもあると思うが対応可能か。

事務局

登校についてはワゴン車を利用していただくことを考えている。下校については、小学校からの聞き取りにより「基本的には 3 時半のバスで全員帰る。一番遅くても 4 時半のバスでの帰宅になる。」と聞いている。一方、中学校からの聞き取りによると、中学生がバスを使うのはおよそ 5 時半とのこと。資料 1 のとおり、マイクロバス（29 人乗り）の最終便で勝部・日置を走るように計画をさせていただいている。その便には中・高校生であっても、誰でも乗れるようにするということを考えている。

委員

デマンドにおける予約受付の時間帯はどのように考えているか。

事務局

予約の受付時間などについてはこれから検討していく。予約の仕方については、運転業務を受託していただいた業者へ電話してもらおうということを今考えているところ。

委員

予約の状況をスマホなどで見れる環境を整備するというのは考えていないか。

事務局

鳥取市内ではすでに予約が必要な便が運行されているが、予約状況が分かるような仕組みがない。これは全市的な問題になってくるので、そういうご意見があったということは、交通政策課の方に伝えたい。

委員

デマンドの運行をタクシー会社が請ける場合、タクシー事業もやりながらデマンド運行の両方を行うのはなかなか大変だろうと思うのだが、市の有償バスを運行してもらうための委託費はどのように算定されるのか。

事務局

委託費の算定については、まず業者と話し、それを踏まえて市の財政とも話をしていくなど、まだこれから詰めていかなくてはいけないという状況。

委員

運転手の確保のめどは立っているのか。

事務局

何とか確保できそうだという感触を受けているところ。

委員

今回のバス路線廃止について周知はされるのか。

事務局

10月の支所だよりに掲載する予定。

委員

今後、共助交通へ移行していくのだと思うが、この協議会も続くということか

事務局

委員長・副委員長と相談しながらとなるが、市有償運送の運行を始めたから終わりではなく、利用促進等の意見をいただく場として継続させていただきたいと考えている。

委員

予約の仕方は、とにかく分かりやすいようにしてほしい。高齢者対象で研修会を開いていただくとか。

事務局

承知した。

【報告事項】

1. ガイダンス施設へのシャトルバスについて、ガイダンス施設の駐車場内にバス停を設置する方向で調整中。ただ、オープン時期未定ということなので、運行開始時期も未定。オープンに合わせて運行できるように調整していきたい。
2. 支所だよりでも掲載しているが、路線バスの乗車率がよくない。今からバスに乗る、自家用車に頼らないということに慣れていただきたい。周りの方に声をかけていただきながら、路線バスの利用をお願いしたい。

【閉会：委員長あいさつ】

今回、新聞に突然発表になったということで、今後皆さんにも、利用者の方から声が届くかもしれない。声が届いたら、事務局の方に伝えていただきたい。

今日の協議会は、日ノ丸自動車が路線の廃止を発表されて初めての開催となった。

今日いただいたご意見等を踏まえ、今後関係機関や関係部署ともいろいろな協議を重ね、バス路線廃止後も、児童の通学や地域の皆様の通院、買い物等の移動手段を確保していきたいと考えている。

引き続きご理解、ご協力をお願いしたい。